

議会だより やまもと

Vol. 197
令和4年8月1日発行



議場見学

第2回臨時会

会期 5月23日

第2回定例会

会期 6月3日

～6月10日

- 議案審議……………P 2～ 3
- 一般質問……………P 4～14
議員10名が町政を問う
- 臨時会……………P16～17
- 委員会報告……………P18
- 会議等出欠状況……………P19

令和4年 第2回定例会

新議員紹介



議事に先立ち、4月17日執行の山元町議会議員補欠選挙で当選した、品堀栄洋議員から挨拶がありました。

皆様のご支援によりまして、山元町議会議員の職に就かせていただきました。自分の器に余の大役であり、職責の重大さを日に日に痛感し、身の引き締まる思いでございます。まだまだ未熟な私ですので、皆様におかれましてはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。皆様のために努力を尽くす覚悟でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

※なお、品堀議員は議席番号2番に指定、産建教育常任委員会に所属しております。



定例会概要

第2回定例会は、6月3日から10日までの8日間の日程で開催されました。

今回の会議では、新町長の所信表明があり、選挙公約にも掲げた「5つの柱」についての取り組みの説明を受け、提出議案7件（報告3件、条例2件、補正予算2件）を審議し、原案通り可決しました。

一般質問は、新町長就任後初めての定例会となったことから、町長の公約や、今後のまちづくりについて10人の議員が一般質問を行いました。

請願 請願書を採択し町長へ送付（請願第1号）

令和4年1月20日、坂元地区行政連絡調整会議（会長 島田敏光氏）から提出された「太陽光発電設備設置届出の手続き、条例制定に関する請願書」は、総務民生常任委員会に付託され審議されてきました。その結果を、委員長から下記のとおり報告しました。

《採択すべきものとし町長へ送付》

令和4年3月7日に総務常任委員会に付託された事件を審査した結果、下記意見を付して決定したので、山元町議会会議規則第93条の規定により報告しました。

件名	審査結果	措置
太陽光発電設備設置届出の手続き、条例制定に関する請願書	採択すべきもの	町長送付

【意見】

条例等の策定については、再生可能エネルギーの普及を考慮する必要がある。

また、一方では、大雨時における洪水や土砂流出の影響など慎重に検討すべき事項もあることから、十分な調査、検討は必要と思われる。



質疑応答

議員 どの程度の検討、議論をしたのか。
 委員長 4月18日に請願者から説明があり、現地調査を実施した。
 議員 土砂災害防止、治安安全の確保等の具体的条件について検討議論をしたのか。
 委員長 具体的な話はなかった。
 議員 今後の委員会としての取り組みについては。
 委員長 継続していくつもりである。
 議員 議会全体で取り組むことが必要ではないか。
 町と議会が一体となり、地域住民に大きな不安を与えないようにしていくべきではないか。

補正予算 — 政策的予算含む補正予算を可決 —

一般会計補正予算（議案第29号）

今回の一般会計補正予算は、3月に発生した福島県沖地震の災害復旧関連、原油価格・物価高騰に伴う子育て支援を含めた生活関連支援や当初予算では計上されていない政策的な予算の3点から構成されています。

歳入歳出はそれぞれ15億70万円を増額し、総額110億196万円とし、下記の主な事業を承認・可決しました。

主な事業

◎福島県沖地震の災害復旧関連

（単位：千円）

項目	補正額	補正後の金額
地震被害家屋等解体業務委託料	170,240	194,600
文教施設災害復旧費（学校、社会教育施設等）	72,407	95,017
公共施設・公用施設災害復旧費（おもだか館等）	146,694	150,895

◎その他

（単位：千円）

項目	補正額	補正後の金額
子育て世帯生活支援特別給付金	3,250	197,769
山下第一小学校校舎改修工事請負費	245,520	329,458
学校給食費補助金（第2子以降）	10,263	10,263
町指定文化財茶室等整備実施設計業務委託料	11,000	25,338
町民体育館長寿命化・耐震補強工事関係	365,600	394,691

一般質問 我が町政を問う

- ◇伊藤 貞悦 議員 P5
 - 1 これからのまちづくりについて
- ◆菊地 康彦 議員 P6
 - 1 今後の危機管理について
 - 2 今後の支援のあり方について
- ◇渡邊千恵美 議員 P7
 - 1 子育て支援策、及び移住定住促進対策について
 - 2 町長の政治姿勢等について
- ◆高橋 建夫 議員 P8
 - 1 町長の公約等について
- ◇高橋真理子 議員 P9
 - 1 公共施設の利活用について
 - 2 東北地方太平洋沖地震（日本海溝・千島海溝地震含む）における危機管理対策について
- ◆竹内 和彦 議員 P10
 - 1 坂元地区の豪雨水害対策について
 - 2 太陽光発電について
- ◇岩佐 秀一 議員 P11
 - 1 町政を刷新することについて
 - 2 新市街地への一極集中からの脱却について
 - 3 安心・安全対策について
- ◆大和 晴美 議員 P12
 - 1 給水スポットについて
 - 2 マイナンバーカードの取得推進について
- ◇遠藤 龍之 議員 P13
 - 1 町民バス等公共交通機関の充実について
 - 2 高齢者福祉施策について
 - 3 スポーツ・レクリエーション複合施設整備事業の取り組みについて
- ◆岩佐 孝子 議員 P14
 - 1 安全・安心して暮らせるまちづくりについて
 - 2 今後のまちづくりについて

○一般質問とは

町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの

こちらから録画映像を見ることができます➡



公約の豪雨水害対策の具体的考えは

町長 最重要施策で、喫緊の課題である

議員 構想や具体的な対策について、排水対策を促進強化することなのか。

町長 町の最重要課題として、高瀬川、新井田川、山寺川及び鷺足川合流部の排水不良解消に向け調査、改修工事を実施してきた。

また、坂元地区の排水対策については、様々な方法で取り組んできたが、依然浸水被害が解消されない状況が確認されている。これを解消するため関係

機関との調整をしている。

議員 町民の多くが感じてい、6号線と交差する部分の道路と川を改修しなければ解消されないのではないか。

町長 これまでも度々取り上げられ問題である。国や関係機関との協議がなかなか進展していない。今後も対策や協議を進めて行くのもう少し様子を見ていただきたい。

議員 新井田川の下流

部は早急に川幅を広げないと、土砂の浚渫だけでは対処できないのではないかと。また、山下（大沢川）は下流部を増設し、まっすぐな川とし排水しなければ解消されないのではないか。

町長 住民の生命財産を守るのが重要な役目であり、これからも専門家等の意見を聞きながら、一番的確な方法を模索し、関係機関との協議等を整え、順次事業化を図っていく。

議員 「小・中学生、幼稚園、保育所の給食費、副食費の無償化」については、どのような考えなのか。

町長 無償化については、公約に掲げたとおり早期に考えたい。具体的方策については、給食費等の完全無償化は、大部分が一般財源であり財政負担が大き

いことから、従来の方策を継続しながら、段階的な無償化を含め、長期にわたって持続可能な支援策を慎重に検討していく。

町長 値上がりの部分は100%補填したいと考えている。

議員 給食費の検討については、是非、対象を第1子から、該当させることを求める。



伊藤 貞悦 議員



フルーツも欲しい



議員 菊地 康彦

これからの危機管理体制は

町長 命を守る対策を講ずる

議員 「津波浸水想定公表」があり、津波の浸水面積が大震災の1.2倍と予想されたが、津波防災区域の見直しは行うのか。

町長 県の動向を踏まえ、慎重に検討を進める。

議員 避難体制や、避難マニュアルを見直すのか。

町長 津波浸水想定を含めた、実際の避難行動に結びつく避難マニュアル整備を行う。

議員 保育所、小・中学校の危機管理体制や避難マニュアル等に問題点は。

教育長 山二小等が津波浸水区域となったことから、各学校に防災



これで子どもたちを守るのか？

マニュアルの見直しを指示したところである。

議員 山二小は津波の想定時、緊急避難所が体育館となっている。また、児童引き渡しは、先の大震災の時に大きな問題点となったが、危険回避はできるのか。

教育長 緊急避難を含め、避難のあり方を見直す。

議員 防犯のために重要な門扉が未設置や、設置予算を見送られた

と言う事例も聞く。危機管理の面からどの様な考えか。

教育長 学校敷地内に入れても、校舎内には入れないという防犯体制をとるようにしている。

議員 休憩時間や、校庭に子どもたちが遊んでいる時はどの様に対応するのか。

教育長 学校の体制、施設の体制、要求に対して再検討する。

議員 保育所の避難行動について、保育士が避難場所の役場まで園児を運搬車両や、背負って徒歩で避難させ

るのは問題ないのか。

町長 今回の津波浸水想定対応を含め、見直しを行う。

これからの支援のあり方は

町長 誰もが納得のいく支援をしたい

議員 農漁業の後継者に支援の考えは。

町長 町独自に支援をしていない漁業者へ、関係機関と連携し支援策を検討する。また、農漁業の経営基盤の安定化のため、農協や漁協と連携し、国や県に支援を働きかける。

議員 遊休農地対策や、活用に対する支援は。

町長 農地中間管理機構の活用が有効な手法の一つと考える。

議員 実際活用が出来るているのか。本気で遊

休農地を減らす方向に向かっているのか。

町長 指摘の部分については十分に理解して常に仕事をしている。

議員 津波防災区域1種、2種にお住いの方への不公平感のない支援は。

町長 誰もが納得いく形で支援したい。

議員 定住促進と言う観点から、公営住宅基金の活用は。

町長 意見を聞きながら、誰もが納得いく形で支援したい。

子育て支援策は継続か刷新か

町長 今後も継続して取り組んでいく

議員 これまで実施してきた子育て支援策や移住定住促進対策事業は今後も継続する考えなのか、それとも刷新する考えなのか。

町長 今後も各種支援制度の周知を図り、継続して子育て支援及び移住定住促進事業に取り組んでいく。

さらなる支援策として小・中学校給食費の無償化など経済的負担軽減を図るよう検討する。

議員 こどもセンター

は0歳から18歳までの子どもと、その保護者が交流できる拠点として、さらなる整備が必要ではないか。

町長 センター利用者や活動しているNPO等の要望を伺いながら、地域交流事業の推進やより一層の利用周知に取り組んでいく。

議員 中高生の来館を促すため、保育士を目指す生徒などへ気軽に子どもたちと触れ合える場として周知してはどうか。

町長 近隣市町の取り組み状況を参考にし、児童館として果たせる役割を検討する。

議員 たくさんの人々の交流拠点となるよう世代交流センターなど

の位置づけとし、施設名称を改め周知を図ってはどうか。

町長 すぐには言えないが、一つの提案として検討する。



議員 渡邊 千恵美



こどもセンター楽しいね

町政運営の抱負は

町長 希望を持ち笑顔になれる町へ

議員 町のリーダーとして政治家としての姿勢・視座は。

町長 政党にはこだわらず、町民や議会との対話、及び協力・信頼関係の構築に努め、町民の声を町政へ反映させた町政運営に全力で取り組む。

議員 町政運営への抱負は。

町長 町民が希望を持ち笑顔になれる町づくりへの強い思いをもとに、5つの柱「喫緊の課題は、パークゴルフ場の建設ではなく豪雨水害対策」「子育て世帯への継続的な支援」「誰もが安心して暮らせる町の実現に向けた福祉政策の推進」「町全体の豊かな復興」「職員とともに町民目線で進める、公平で健全な町政運営」の具現化を目指す。

議員 豪雨水害について山下大沢川水門などの対策は。

町長 重点的に取り組む。

議員 小学校の問題等、子育て世代と地区懇談会を開く考えはないか。

町長 声をかけていただければ出向していく。

議員 誰もが笑顔輝く町になるよう期待する。



たかはし たてお 議員 高橋 建夫

町長公約を町政運営にどう生かすか

町長 施策優先順位を重視し、公約果たす

議員 新市街地への一極集中を脱却し、町全体の豊かさを目指すところがあるが、町政の主軸たる「第6次総合計画」の見直しは。

町長 町最上位に位置し、見直さず施策優先に順位を見極め公約を果たす。

議員 コンパクトシティだけではなく、魅力あるまちづくりは。

町長 コンパクトシティという顔ができ、他地区との手足と体をつなぎ魅力を発信する。

議員 教育委員会が2度にわたり町民の声を集約して決定した、小学校再編を検討したところが、現在と将来予測の

小学校規模では、強い要望がある切磋琢磨、クラス替えが出来る教育環境にはほど遠い。子どもたちを遅く育てる環境をつくるべきでは。

町長 子どもを第一に考えた再編検討報告書である。白紙にする訳ではなく、まちづくりと連動すると考え、住民と意見交換し進めた。

教育長 町長と総合教育会議で意見交換した。平成30年12月に決定した方針で進めるべきだが、まちづくりの部分で町長との調整はまだである。進め方を共通理解し、検討する。

議員 宮城病院の包括支援センターや外部委託見直しは職員定数や人件費と密接な関係がある。また、当病院との救急医療や小児健診、保育事業等の協力関係は。

町長 外部委託業務は

議会と適切に判断し、地域医療の中核を担う宮城病院とは、関係強化に努める。

議員 「スポ・レク複合施設」の基本計画が策定されたが、民間活力が期待できない本計画ではなく、パークゴルフを核に健康増進、交流機能を付加した整備案が現実的であると考えるが、町長の判断は。

町長 費用対効果、事業の優先度を再検証し判断したい。

議員 昨年見直した公共工事の「入札、契約制度」は、何の検証か。

町長 入札制度は、落札率の現状や他自治体の傾向等を検証する。

議員 「地場産業育成の課題解決に向けたネットワーク構築」の見解は。

町長 既存企業が人材確保に苦慮していることから、求人活動や町内求職者とのマッチン

グの必要性を認識した。商工会や工業会等と連携し、ネットワーク構築や雇用創出を図る。

じる。例えば小学生の町内企業の見学は。
町長 コロナ禍でもできる事を工夫し、今後検討していく。



児童が主人公の小学校再編を

公共施設を有効活用すべし

町長 旧坂中施設の活用は早い段階で行う

議員 県が今年2月定例会で予算化した、日本語学校開設に向け、早速、手を挙げた自治体がある。旧坂中中学校施設を活用し、本町も積極的意向を示すべきでは。

町長 環境や条件等に恵まれている当施設の具体的な活用については、先導事例等を踏まえ、今後検討する。日本語学校については、中身を理解した上で、詳細を決定していきたい。

教育長 学校施設だったところを、日本語学校として活用されることは好ましい事である。

議員 日本語学校施設と併せ、廃校活用成功事例として、鳥取県八頭町にある「単ラポ」という公民連携の複合施設がある。シェアオフィス等も設けられ、ITやドローン関連の企業が利用し、カフェやセレクトショップもあるほか、垣根を越えて誰もが楽しく過ごせる交流の場となっている。

議員 深山山麓少年の森拡張・改修事業のBMXコースについて、事業の予算枠を広げ、

る。観光・交流人口拡大や移住・定住の推進等、多様な課題改善の一策と考えられるが。

町長 建物の劣化も進むので、地域住民や多くの方々の意見を聞きながら、早い段階で進めていかねばならない。

議員 深山山麓少年の森拡張・改修事業のBMXコースについて、事業の予算枠を広げ、

大会開催可能な規模に拡幅する考えはないか。

課長 基本的には改修工事だが、ローカル的な大会が開催されるよう、令和6年度供用開始を目指し実施設計に取り組んでいく。

議員 ひだまりホールやおもだか館にコワーキングスペースの設置を。

町長 災害時の防災対策活動拠点の施設だが当面は、机の配置替え等の工夫をして対応する。



たかはし まりこ 議員 高橋 真理子



リニューアルが待たれるBMXコース

津波浸水想定による危機管理は

町長 見直しの検討に取り組む

議員 県の発表した津波浸水想定により、危機管理対策等に多くの見直しが必要ではないか。

町長 避難路や避難駐車場、避難所や避難訓練等について、整備を早め、見直しの検討をしていく。

課長 津波ハザードマップは、速やかに作成を進め、年度内に配布予定としている。

議員 個別避難計画の策定は。避難行動要支援者の避難体制整備に向け、早急に進めていく。

議員 大震災から11年以上が経ち、防災教育や震災時の助け合いを進化させた地域づくりが大切だ。

※コワーキングスペース
机と椅子や会議室などを共有しつつ、利用者がそれぞれ自分の作業を行うための環境のこと。

※マイタイムライン
台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理すること。



やまと はるみ 議員
大和 晴美 議員

町施設にボトル給水型給水機設置を

町長 現況やニーズ等を把握し、検討する

議員 熱中症の予防やペットボトルの削減のため、公共施設にボトル給水型を併設した給水機の設置を進める考えはないか。

町長 現状やニーズ等を十分把握した上で、検討する。

議員 みやぎ環境交付金事業について、気候変動の影響への適応として、公共施設への冷水・給水機設備の設置も対象となった。これを活用して給水機を導入する考えはないか。

町長 そのような制度は検討に値する。



改修予定の深山少年の森

滋賀県の大津市では、大津湖岸なぎさ公園に冷水機を設置した。今後、拡張・改修を行う深山山麓少年の森に冷水機を設置する考えはないか。

町長 早い段階で、住民の意見を聞きたい。

議員 非接触にてボトルに給水可能な冷水機を設置する際にコロナ交付金、地方創生臨時交付金を活用している事例が増えている。本町でも、この交付金を

活用して冷水機を導入してはどうか。

町長 該当する補助金はすべて使って、住民サービスにつながる事業をしていきたい。

議員 ひだまりホールに設置されている冷水機でマイボトルに水をくむことができる。この貴重な冷水器をPRするため、給水スポットの飾りつけをしてはどうか。

町長 宝の持ち腐れにならないよう、しっかりとした形でPRしていきたい。

議員 ひだまりホールに続く町内2号の給水機の設置についてどう

考えるか。
町長 いろいろな制度を探り、施設に1台ぐらいつつ設置できるように進めたい。

マイナンバーカードの取得推進を

町長 県平均以上めざし積極的に取り組む

議員 町内のマイナンバーカードの取得者数をどのようにとらえているか。

に向け、周知徹底を図る。
議員 出張窓口の推進をする考えはないか。

町長 国は今年度末までにほぼ全国民に行き渡ることを目指して普及促進に取り組むとして、これを鑑みると、大変厳しいと重く受け止めている。

議員 町独自の自治体マイナポイント事業を実施する考えはないか。

議員 職員に対する取得促進の考えはないか。
町長 庁内の会議等を活用し、全職員の取得

をすすめる。
町長 期日前投票や確定申告など、町民が集まる機会を活用し、積極的に取り組む。
議員 町独自の自治体マイナポイント事業を実施する考えはないか。
町長 これまで申請頂いた方との公平性等を考慮すると現実的ではない。

町民バス等、公共交通機関の充実を

町長 総合的な見直しが必要であると判断

議員 町は総合計画で公共交通の施策について現状と課題を示し、施策の基本方向として町民の生活を支える身近な交通手段である公共交通網の整備の促進、新市街地と既存集落を有機的につなぐ交通ネットワークの構築を図り、新市街地の利便性を町全体が享受できるまちづくりを進めるとして、対策に取り組んでいるところである。

の町民バス運行の調査・検討するための予算を計上し、運行改善と示しているが、これまでの取り組みをどう認識し、いかしていくか。

議員 総合的な見直しとは。
町長 行動目的を調査し、バスの台数、大きさも含めて、全体的な見直しを進めたい。

今議会提案の一般会計補正予算では、今後

的見直しではなく総合的な見直しが必要であると判断している。



期待を乗せて走るぐるりん号

高齢者福祉対策は十分か

町長 大変重要な喫緊の課題と認識

議員 誰もが安心して暮らせる町の実現に向けた福祉政策推進として高齢者福祉施策について、これまでの事業に一部見直しが必要と考えており、高齢者や身体の不自由な方々の日常生活に欠かせない町民バスぐるりん号等の運行の在り方の検討など、その施策の重要性を強調しているが、高齢者緊急通報システム事業の取り組みの現状等、老人の一人暮らし等の対策は十分か。

今後については、取り組みのさらなる充実を図るとともに、現行サービスの見直しに向け現状把握を行い、新たな施策の検討を進めていく。
議員 補聴器助成の考えはないか。
町長 加齢性難聴、老人性難聴は生活の質を落とす、認知症になる原因の一つと認識、先進自治体の状況の確認など今後の検討課題としたい。

町長 大変重要な喫緊の課題であると認識している。民生委員の訪問活動及び郵便局や新聞販売業者等との高齢者の見守りに関する協定等の締結や、各地区における地域支援ネットワークによる見守り活動など、高齢者が安心して暮らせるための体制を整えてきた。高齢者緊急通報システム事業については利

スポーツ・レクリエーション複合施設整備事業の取り組みについて、取り組みの遅れや整備調査結果をどう受け止めているか。
また、結果を受けて今後の取り組みは。

その他の質問



えんどう たつゆき 議員
遠藤 龍之 議員



いわさ たかこ 議員
岩佐 孝子

災害対策のため早急な取り組みを 町長 積極的に取り組んでいく

議員 地震、豪雨災害が多くなっており、大震災時の未整備避難道路等の早期実現への取り組みは。

町長 施工中の大平牛橋線、頭無西牛橋線は年内完成予定。上平浜原線は6年度、通称4番作道は7年度には完成予定である。

議員 上平浜原線は、狭路、急カーブであり事故が起きやすいのでは。

町長 早めに完成できるよう取り組みたい。

議員 県で示した津波浸水想定からすると、早急に整備が必要である。道路の幅員が狭く救

○令和4年 第2回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（山元町町税条例等の一部を改正する条例）【P16に掲載】	承認	
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（山元町国民健康保険税の条例の一部を改正する条例）【P16に掲載】		
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（新型コロナウイルス感染症に伴う山元町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例）		
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（山元町地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例）		
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度山元町一般会計補正予算・専決第4号）【P17に掲載】		
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度山元町一般会計補正予算・専決第5号）【P17に掲載】		
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度山元町一般会計補正予算・専決第1号）【P17に掲載】		
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度山元町一般会計補正予算・専決第2号）【P17に掲載】		
議案第23号	令和4年度 漁機請1号 磯浜漁港東防波堤・-2.0m物揚場補修工事請負契約の締結について【P17に掲載】		可決
議案第24号	令和2年度（繰）社総交（復興）請9号 頭無西牛橋線舗装工事請負契約の変更について【P17に掲載】		
議案第25号	令和3年度（繰）交通安全補助請1号 大平牛橋線舗装工事請負契約の締結について【P17に掲載】		
議案第26号	令和4年度山元町一般会計補正予算（第1号）【P17に掲載】		

○令和4年 第2回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
請願第1号	太陽光発電設備設置届出の手続き、条例制定に関する請願書について（委員長報告）【P3に掲載】	採択 (町長送付)
報告第2号	繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第3号	事故繰越し繰越計算書について	
報告第4号	山元町水道事業会計予算繰越計算書について	
議案第27号	山元町議会議員及び山元町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第28号	東日本大震災に伴う山元町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	
議案第29号	令和4年度山元町一般会計補正予算（第2号）【P2に掲載】	
議案第30号	令和4年度山元町下水道事業会計補正予算（第1号）	

○請願・陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第2号	女性トイレの維持及びその安心安全の確保について	女性スペースを守る会 —LGBT法案における『性自認』 に対し慎重な議論を求める会— 共同代表 飯野 香里 井上 恵子 永田 マル 山田 響子	配布
陳情第3号	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	海事振興連盟 会長 衛藤 征士郎	配布
陳情第4号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古を止める！全国基地引き取り 緊急連絡会 代表 漆山 ひとみ	配布
陳情第5号	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	井田 敏美	配布

急車が入っていけない状況であり、積極的に地域（特に地権者）の協力を求めていく必要はないか。

町長 よりスピード感を意識し、可能な限り計画を前倒ししたい。積極的に地域の方々や関係者、関係機関と調整を図り事業推進に努めたい。

議員 頻繁に発生する地震、台風などの災害に対処、防災対策を図るため部署設置の考えは。

町長 自治体における危機体制の強化が求められている。次年度に向け組織再編の中で検討し推進していきたい。

議員 積極的に現地に足を運び、住民の安全を確保するため汗をかいて欲しい。

議員 海岸部に防潮堤が整備され、海岸線に接する道路までも拡幅されたが、砂利道で、未舗装である。整備する考えは。

町長 海岸防災林、防潮堤に接する管理用道路である。このことから所管の関係省庁へ適切に管理するよう早急に要望する。

議員 磯から牛橋の海岸には、釣りやサーファーが多く来訪している。沿岸部には、防災避難丘公園やトイレが整備されている。公園周辺の整備計画については。

町長 県南有数のサーフポイントとして愛好者に親しまれ、波質が良いことで知られている。多くの若者が集い、地域活性化や交流人口

地域資源を生かした施策展開を 町長 他事業との整合性を図り検討



笑顔はじける子どもたち

増加、町の魅力をPRできると認識している。現時点では再整備の計画はないが、他事業との整合性を図り検討したい。

議員 サーファーの利便性を図るためワンコイン等で利用できるシャワー設置の考えは。

町長 海は町の財産である。維持管理等も含め、中身をしっかりと考え、検討していきたい。

議員 当町出身のプロサーファーがおり、また、東京オリンピック競技となったことを踏まえ、町長杯サーフィン大会を開催しては。

令和4年 第2回臨時会

「町民が主人公のまち・山元町」を実現

臨時会概要

5月23日(木)、4月17日(日)に執行された山元町長選挙により、当選した橋元町長の就任あいさつ後、地方税法等の一部改正に伴う条例の一部改正ほか、新型コロナウイルス対策、福島県沖地震の被災者支援施策のため、臨時会が開催されました。

提出議案12件(承認8件、議案4件)を審議し、全ての議案を原案通り可決しました。



条例一部改正

山元町税条例等の一部を改正する条例

(承認第3号)

〔第1条による主な改正内容〕

- 住宅借入金等特別税額控除の延長、見直し
- 住宅ローン控除の適任者を令和4年から令和7年までの間に居住した者とする
- 省エネ改修工事を行った住宅に係る特例等の拡充
- 令和6年3月31日まで期間を延長
- 土地に係る固定資産税の負担調整措置
- 令和4年度に限り、商業地等に係る課税標準額の上昇幅を評価額の2.5%とする(現行5.0%)



山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(承認第4号)

【改正内容】

課税限度額の引き上げ

区分	現行	改正後
基礎課税額に係る課税限度額	63万円	65万円
後期高齢者支援金等に係る課税限度額	19万円	20万円

◆主な質疑

議員 条例の改正は、今の社会状況を十分考えた上でのことか。

課長 中層所得者が影響を受けることが大きいことから、税率の引き上げではなく、限度額を上げる議論になり見直しをした。

議員 対象者は何人ぐらいか。

課長 基礎課税額対象者は、17世帯で68人、後期高齢者支援金分対象者は、23世帯84名分である。

補正予算

今回の補正予算は、主に令和4年3月16日に発生した福島県沖地震による、災害復旧事業に係る経費等を計上したものです。

◇令和3年度山元町一般会計補正予算(承認第7号・第8号)

主な事業

- ・災害ボランティアセンター運営事業 5,625千円
- ・災害廃棄物処理事業 17,200千円
- ・道路新設改良事業 13,594千円
- ・山元中学校屋内運動場災害復旧事業 1,200千円



改良事業中の道路

(単位:千円)

会計名	補正額	補正後の予算
一般会計	814,093	12,849,900

◇令和4年度山元町一般会計補正予算(承認第9号・第10号、議案第26号)



地震により被害を受けた瓦屋根

主な事業

- ・新型コロナワクチン予防接種経費 82,077千円
- ・瓦屋根改修補助金 28,000千円
- ・災害援護資金貸付金 14,000千円

(単位:千円)

会計名	専決予算	補正額	補正後の予算
一般会計	370,545	125,847	9,501,263

契約(議案第23・24・25号)

名称	金額(税込み)	落札率	相手方	工期
令和4年度 漁機請1号磯浜漁港東防波堤・-2.0m物揚場補修工事	5,218万4,000円	91.43%	東亜建設工業株式会社 東北支店	令和4年12月16日
令和2年度(繰)社総交(復興)請9号頭無西牛橋線舗装工事(変更)	増額493万2,400円(総額1億76万9,900円)	-	株式会社エス・ケイ・デイ 仙台支店	令和4年6月30日
令和3年度(繰)交通安全補助請1号大平牛橋線舗装工事	6,059万4,600円	90.09%	日広建設株式会社	令和4年11月30日

町の仕事をチエック!!

総務民生常任委員会

産建教育常任委員会

○スポーツ・レクリエーション複合施設整備事業

調査日

4月28日

調査内容
「山元スポーツ・レクリエーション複合施設整備基本計画」について調査した。

意見

計画が示す4つの導入事例からは、民間企業の参入は期待できないと判断されるので、引き続き、継続調査とする。



複合施設候補地の現状

●保育事業

調査日

5月13日

調査内容
「山元町子ども・子育て支援事業計画」と「待機児童の受け皿整備」について調査した。

意見

・4月1日時点の待機児童ゼロは、各種受け皿や諸施設整備等の成果と判断される。年間を通じて、待機児童が出ないよう一層の工夫を望む。
・町民が要望・希望する「待機児童の受け皿整備」の推進を望む。

○町営住宅

調査日

4月7日、5月6日

調査内容
家賃低廉化及び低減事業の概要、並びに住宅基金及び払い下げ希望者の現状について調査した。

意見

・東日本大震災災害公営住宅家賃対策補助事業については、事業期間終了後も町独自で事業継続をすべきである。
・低廉化及び低減事業の補助金等の活用は目的に沿う施策に最大限活用すべきである。
・払い下げ希望者を早急に把握するため、

現居住者へ意思確認の調査が必要である。

調査日

4月21日

調査内容
各整備区域の進捗状況及び補完工事遅延の理由、また完了後の農地や畑地の耕作状況を調査した。

意見

・未作付け畑地の補完



名生東町営住宅

工事完了見込み時期、また工事完了後における県との間で責任所在が不明確である。そのため、今後の管理体制も踏まえ明確にする必要がある。
・令和4年度までの整備完了状況及び耕作状況を改めて調査し報告すべきである。
・令和5年度以降の補完工事に係る財源等を明確にして報告すべきである。

議員の会議等出欠状況

令和4年4月1日～6月30日

出席：○ 欠席：欠(病気等)・公(公務) 員外：-

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
				伊藤貞悦	品堀米洋	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也	
4	7	木	産建教育常任委員会	-	-	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	
	11	月	議会広報・広聴常任委員会	-	-	欠	-	○	-	-	-	○	-	○	○	-	
	13	水	巨理地方町議会議長会 総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
	18	月	総務民生常任委員会	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-
			巨理名取地区市町議会連絡協議会 総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
	19	火	仙南・巨理議会議長会 議長会議	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
	20	水	議会広報・広聴常任委員会	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-
	21	木	産建教育常任委員会	-	-	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-
27	水	全員協議会	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	木	総務民生常任委員会	○	-	欠	-	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-	
5	6	金	産建教育常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-
	11	水	仙南・巨理議会議長会 議長会議	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
	13	金	総務民生常任委員会	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-
	18	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			産建教育常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-
	23	月	第2回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	木	宮城県町村議会議長会 臨時総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
6	1	水	議会運営委員会	○	-	-	○	-	-	○	○	-	-	○	○	○	
	第2回議会定例会 (6/3・7・8・9・10)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9	木	総務民生常任委員会	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-
			産建教育常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-
	10	金	議会広報・広聴常任委員会	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-
	15	水	議会運営委員会	○	-	-	○	-	-	○	○	-	-	○	○	○	○
	16	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	木	産建教育常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-
28	火	総務民生常任委員会	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-	
29	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長交際費

区分	4月		5月		6月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	-	4月支出なし	-	原水爆禁止国民平和 大行進 賛助金	6,000	議員OB会
慶弔	-		-		27,000	元山元町長葬儀
その他	-		5,000		-	
合計	-		5,000		33,000	

議会活動紹介

○ウクライナ緊急支援に対する寄付

4月18日、NPO法人のアドラ・ジャパンに、議員全員から募った寄付金を岩佐議長から同法人の青木事務局長に手渡しました。

同法人は、ロシアによる侵攻が続くウクライナへの支援活動を行っており、その活動に議員全会一致で賛同したため寄付を行ったものです。



目録を手渡す岩佐議長

○第2回議会ICT化研修

4月27日に開催した全員協議会で、議会のICT化を目的とした研修会を実施しました。

研修会では、タブレットのオンライン会議アプリを使用し、操作方法、使用感について確認し、議会のオンライン化について検討しました。

○津波浸水想定域についての説明

6月16日に開催した全員協議会において、県が発表した、津波浸水想定に関する説明会が行われました。

県職員から説明を受けた後、町民への周知方法などについて質疑を行いました。

○小学生議場見学

6月30日、山下第二小学校の6年生10名が議場見学に訪れました。児童たちは、それぞれ議員席に座り、事務局職員から町議会についての説明を受けました。その後「議員は何歳からなるのか」「議員が話す内容はどうやって決めるのか」などの質問を積極的にしていました。



職員から説明を受ける児童

また、議場内を見学し、議長席や執行部席に座るなど、議場の雰囲気を感じました。

お知らせ

令和4年 第3回山元町議会定例会 (予定)

会期：8月31日(水)～9月16日(金)
開会：午前10時
本会議：8月31日・9月2日・5日・7日・16日
(一般質問：9月2日・5日)

〈議会広報・広聴常任委員会〉

委員長	岩佐 秀一
副委員長	菊地 康彦
委員	渡邊千恵美
委員	岩佐 孝子
委員	高橋 建夫

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

子どもたちも夏休みに入り、いよいよ夏本番となります。

令和4年第2回山元町議会定例会が行われ、一般質問では議員10名からの質問があり、円滑で的確な回答がありました。橋元町政が力を入れる豪雨水害対策は、台風が多くなるこれからの季節に向けて、手腕を発揮することを期待します。

私たち広報・広聴常任委員会としても、皆様の手にとって読みやすい紙面づくりに努めますので、今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

(委員 渡邊 千恵美)